情報連絡員だより

英国のＥＵ離脱問題の波及を懸念

６月の業界WEATHER

全業種平均 前年同月比

概況

先行き不透明で国内経済に停滞感が漂う中、英国のＥＵ離脱問題による各方面への悪影響が懸念される。また、コスト低減要請や仕事量・消費の減少による不安感が高まっている。

製造業	食料品		パンは全体的に需要が増加する中、今後、消費者の低価格志向が加速する見通し。菓子は売上が好調も今後の気温上昇による売上減少を懸念している。製麺は生産量・流通量ともに好調となるも大手の寡占は続く。
	繊維・同製品		桐生織物は婦人服地がやや低調も、浴衣関連の売上増加に期待している。繊維製品は婦人服の売上が例年になく悪化している。レースは廃業に追い込まれる企業が増加しており、地域産業存続のための早期対応が不可欠である。
	窯業・土石製品		生コンは公共工事が落ち込み、民需も大型物件が乏しく低調となる。コンクリートブロックは回復傾向で推移するも前月の工期の遅れによるものと推測。砕石は販売価格が上昇するも、売上高・収益状況ともに悪化している。
	機械・金属		英国のＥＵ離脱問題による金融市場への影響や、親企業からの更なるコストダウン要請を懸念している。富士重工関連は円高・株安による今後の業績悪化を憂慮している。一部では円高の影響も重なり、受注量の減少が見られる。
	その他の製造業		紙加工品は一部食品関連や通販関連等で好調となるも、全体としては景況感に依然バラツキが目立つ。印刷は経費削減やコスト低減を目的とした設備投資が散見される中、販売力強化が今後の課題である。
非製造業	卸売業		高崎卸は組合施設の省エネ改修と新電力導入により電気代が大幅に削減された。前橋卸は英国のＥＵ離脱問題による資材の高騰を懸念している。農産物卸は順調に推移したものの、今後の水不足による作物等への影響拡大を危惧している。
	小売業		中古車オークションは出品台数が増加する一方で成約率がやや減少している。生花小売は父の日を積極的にＰＲした店は一定の売上を確保している。商店街は沼田市で観光客の増加が見られるも､全体的にはイベントも少なく停滞気味である。
	サービス業		温泉旅館は夏の繁忙期を前に人手不足感が高まっている。草津温泉はスポーツ関連の大会・合宿等の影響で好調に推移し入込客が増加している。不動産取引は取引途中のキャンセルが増加し、仲介手数料収入の確保に苦慮している。
	建設業		建設工事は公共工事量の減少が止まらず。電気工事は東京五輪に伴う需要が県内に波及しない現状がある一方、夏場のエアコン設置需要の増加に期待している。塗装工事は仕事量が落ち込み、工期の延長や遅れで売上も伸び悩む。
	運輸業		国内景気の不透明感が強まり荷動きの低調が続く一方で、一部では車両の不足感が高まりつつある｡小型運送は東毛方面で自動車部品関係の輸送が増加となるも、全般的に仕事量は減少傾向である。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

●鉱工業生産指数(季節調整値)　109.9(前月比▲2.3%)「県統計課･5月」
●住宅着工戸数　1032戸(前年同月比▲5.8%)「県建築住宅課･5月」
●求人倍率(季節調整値)　新規2.13倍:有効1.47倍「群馬労働局･5月」
●大型小売店販売額　202億円(前年同月比+2.0%)「経済産業省･5月」
●消費者物価指数(全国)　103.6(前年同月比▲0.4%)「総務省統計局･5月」
〈鉱工業生産指数･消費者物価指数は22年=100とした指数〉